



飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 早川 敬介
ガバナー補佐 阿部 次雄
会長 生田目 正志
幹事 渡辺 達也

2024-25年度
地区スローガン

ロータリーを
楽しもう!
ENJOY ROTARY LIFE!

2024 - 2025 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 ぼのこころ 吉川屋
 RI会長 ステファニー・A・アーテック 事務局/〒960-0201 福島市飯坂町字湯町36-6 TEL070-8322-7988 FAX(024)505-4058
 マクマリーRC(アメリカ・ペンシルベニア州)

9月は基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間

通算

第9回 [3169] 例会報告 令和6年(2024)9月19日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	24名
欠席会員	15名
出席率	61.53%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 生田目正志 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 服部裕一 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 堀切孝敏 職業奉仕委員

【9月のご家族様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪
 9月21日 鈴木祐布様(牧子会員) 9月23日 鈴木ヨリ子様(義明会員)

♫ 今週の誕生日 ♪♪♪♪ 9月19日 堀切 孝敏 会員
 9月19日 石黒 智子 会員 ♪♪♪♪



◆会長の時間



それでは、プログラムの予定がずれたのですが、会長のロータリーソング 四つのテスト 時間ということでお願いいたします。先週の第4回理事会の報告ですが、10月のプログラムは3日が国際交流フェスティバルの準備例会、5日は国際交流フェス、10日は振替休会、17日はガバナー補佐の訪問、24日31日は認定休会ですが、10月29日に福島北クラブ、東クラブ、飯坂クラブの3クラブ合同例会が摺上亭大鳥で行われます。会費は一万円です。よろしくお祈りいたします。締め切りは10月18日までですが、様々な催しを考えているようにお土産も付きます。ぜひ皆さんに出席していただきたいと思っております。10月19日のエンドポリオの募金活動も、北、東、飯坂3クラブ合同で、福島駅で予定しております。出席していただける方はよろしくお祈りいたします。今月は合同の夜間例会で終わりですが、私事で10月に脊柱管狭窄症の手術を行うことになり、3日から3週間くらいの入院ということで、菅野副会長にお願いしました。夜間例会では会えないということもありますので、皆様にもお願いをしたいと思います。よろしくお祈りいたします。今日は高倉会員のスピーチが待っておりますので、これで会長の時間とさせていただきます。

.....lunch time.....

◆幹事報告 渡辺達也 幹事

1. 月信
2. 来信

- 2-1 国際ロータリー第2530地区ガバナー事務所より「福島東ロータリークラブの例会場変更のお知らせ」9月よりザ・ホテル大亀→ウェディングエルティ
 - 2-2 国際ロータリー第2530地区ガバナー 早川敬介様・RLI委員会委員長 佐藤榮郎様より「ロータリー・リーダシップ研修会(RLI)第7期パートII開催について(ご案内と登録のお願い)」日程:2024年10月20日(日) 時間:9:00~16:30 場所:郡山ユラックス熱海
 - 2-3 国際ロータリー第2660地区ガバナー 大橋秀典様より「大阪・関西万博開幕祭のご案内」開催日:2025年4月12日(土)【受付】15:30~【開幕式】16:30【懇親会】18:30~
 - 2-4 福島ロータリークラブ 会長 菅沼 裕様より「9/28スポ GOMI大会参加のルールブックと注意事項の案内」
3. メーキャップ報告

◆スマイリングBOX 伊堂里佳 小委員長 【合計47s】

- 生田目正志 会員 5s 高倉会員のスピーチたのしみです。
- 吾妻 一夫 会員 5s 高倉さんスピーチ楽しみにしています。
- 島 隆章 会員 5s しあわせ金婚夫婦表彰式に行ってきました。
- 佐藤喜市郎 会員 5s 加藤会員の入会を祝って 高倉会員のスピーチ宜しくお祈りします。
- 油井 明則 会員 5s 高倉会員のスピーチとても楽しみにしています。前回欠席おわび
- 渡辺 達也 会員 3s 高倉会員のスピーチ楽しみにしています。
- 安斎 忠作 会員 3s 高倉会員のスピーチ楽しみにしています。
- 堀切 孝敏 会員 3s 本日76才誕生日。敬老会は2年後。
- 石川 邦俊 会員 3s 高倉会員のスピーチたのしみにしています。
- 紺野 容樹 会員 3s 高倉会員のスピーチ楽しみにしています。
- 村上 裕司 会員 3s 高倉会員スピーチ宜しくお祈りします。
- 鈴木 牧子 会員 2s 高倉会員のスピーチ楽しみにしています。
- 白岩 裕和 会員 1s 高倉会員のスピーチ楽しみにしております。
- 高倉 怜 会員 1s あたたかい気持ちでお聞きください。今日はよろしくお祈り致します。



岸波仁新会員へバッチ・四つのテスト額縁の贈呈

◆会員スピーチ

高倉 怜 会員



皆さん、こんにちは。1カ月前に高田薫会員さんからお話があり、このスピーチの場所に立たせていただいております。この1カ月間、何を話したら皆さんが「おお」と思ってくれるかと考えてまいりました。先ほどスマイリングをいただきましたが、温かい気持ちで聞いていただければと思います。たくさんのスマイリングをありがとうございました。

今、飯坂支局2年半ですが、よく聞かれることがあります。それが「福島民報社の本社は福島市にあるのに、どうして飯坂支局があるのか」と聞かれます。これには明確な理由があります。それは福島北署(元の飯坂署)があるからです。警察署がある所には各地に本社や支社、支局を構えております。事件事故等があった時にすぐに情報を集め、翌日の新聞に掲載できるように日々各地で動いております。それだけだと面白くないので、私なりに

少し調べてみました。福島民報社と飯坂のつながりを調べるにあたって、こちらが参考文献の『福島民報120年史』です。うちの会社は1892年に創刊しております。飯坂支局は1963年に開設したのですが、1917年に堀切善兵衛さんが第3代目の社長をやっております。飯坂の名士、堀切邸のあの堀切さんです。そのつながりもあって、飯坂支局に重きを置いているのではないかなというのが私の推測です。私が今23代目ですが、福島民報社飯坂支局長がいつからロータリーに所属するようになったのか、私なりに調べ、今日は飯坂ロータリーに所属してからの飯坂支局長の声を取材して集めてきました。皆さんのお手元に過去の紙面がありますので、合間に眺めて懐かしんでもらえたらと思います。福島民報社飯坂支局長で初代ロータリアンは古川雄二です。平成4年に飯坂支局長になり、平成5年から入会したそうです。当時、古川が飯坂ホテル聚楽の川崎さんとすごく懇意にしており、川崎さんから誘われて所属するようになったそうです。思い出に残っているのは、夕花里の村田さんのお名前を言っておりました。取材活動の中では、堀切邸の存続に向けての取り組みやパルセいいざかの開設準備がこの頃だったそうです。事件事故では、若喜の火災を寝る間もなく取材していたそうです。次が大欠英樹です。喜市郎さんが「追っかけ大欠」というキャッチでおっしゃっていましたが、いろんな所を駆け回っていたんですね。着任早々、火災で取材にかけ出して、火災発生場所の住所もどこかわからずにご苦労して、夜も眠れない日が続いたが、ロータリーの先輩たちが心の支えで、諸先輩方はじめ、ロータリーの奥様方にも可愛がってもらって、情報交換ができたのはすごく思い出に残っていると言っておりました。次が第16代の清野昭宏です。当時は摺上川ダムの建設計画が進んでおり、花ももの里の整備も進められていて、また、果樹のオーナー制度が始まり、それについてすごく力を入れて取り組んでいたそうです。特に八幡寺の副住職明心さんのことを取り上げて、ものすごく地域からの反響があったということでした。続きまして、成田央です。数々の取材も印象に残っているようですが、個人的な話を教えてもらいました。飯坂支局で第二子を授かったそうで、第一子が生まれた大病院の主治医とは合わなかったので、瀬上にある産婦人科医院にかかり、妻が臨月になった際に、これは大きな病院にお願いしたほうがよくなり、結果的にその大病院に移され、主治医も同じ医者だったそうです。その瀬上のお医者さんが、後に飯坂ロータリークラブのメンバーだったと知って、ちょっと言葉にしがたい思いをしたのを今思い出したと言っておりました。続きまして、廉野健洋は今うちの会社を離れられておりますが、たまに連絡してくれる仲です。2004年の「吉本はり紙昭和館」の記事は、全国的にも取り上げられるようなニュースでした。あとは廉野が携わったものでは、焼け跡になっていた旧若喜旅館を飯坂温泉旅館協同組合が取得したこと、吉本は元々3ヶ月くらいで終える予定だったのですが、期間を延長することに決まったということを書こうとしたら、いずれも協会の役員の方に「時期尚早だから、まだ書いちゃだめだよ」と言われて書かないでいたら、どちらも中央紙にすっぱ抜かれて苦い思いをしたと言っておりました。続きまして、20代目の菅野聡は平成22年4月から4年間で、震災の時を経験しております。着任早々に小学生の下校中の交通事故死や若い親による幼児虐待ネグレクトなどもあって、苦労の連続だったそうです。特に印象に残ったのが震災について、また別に熊が飯坂温泉街に出たというのも菅野が携わっておりました。これが実際に起こったら、取材は怖いなどすごく感じながら読んでおりました。続きまして、小松淳です。印象に残っているのは2018年の飯坂ロータリークラブ設立60周年事業に携わった「飯坂町の郷土史 我が郷土 飯坂の歴史をたどる」の刊行にすごく力を入れたと言っておりました。飯坂を盛り上げる一助になったのではと、思い出がすごく強く残っているそうです。それでは、お待たせしました。うちのエースの松崎義将です。第22代支局長ですが「生田目さんにはご指導いただきました。今の僕があるのが生田目さんのおかげです」と感謝の言葉を預かっております。特に、けんか祭りでの飯坂ロータリークラブのメンバーで築いた国際交流フェスティバルが、何よりも印象に残っているそうです。思い出に残った取材は、飯坂の交流拠点「ぶらっとふおーむ飯坂」です。千人風呂通りから北に入った場所にある交流施設で、飯坂ゆかりの東京在住者が地元のために取り組み、活動することで飯坂温泉の盛り上がりにつながるだろうというニュースを掘り起こせたのが、思い出に残っているそうです。松崎にとって飯坂とはと聞いたら「第二の故郷」と言っておりました。

以上がこれまでの飯坂支局長で飯坂ロータリーに所属して、皆さんに可愛がってもらったメンバーです。私も先ほど申し上げた通り、2年半、飯坂支局に居させていただきました。これまで本当にありがとうございました。引き続き、3年目もよろしく願いいたします。もう一つ、よく聞かれることがあって、私の妻は隣県の新聞社で働いており、日々、飯坂から1時間半かけて仙台まで行ってもらっているのですが、家事とかはどうしているのか聞かれます。うまいこと分担をしながらやっております。私が料理担当で、我が家のキッチンが私が守っております。以上、30分のお時間をいただきましてありがとうございました。

